

第 34 回建設業経理士 1 級原価計算 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。
問 1

社内に対する建設業原価計算の目的の 1 つに、個別工事の原価管理が挙げられる☆。これは、工事別の実行予算原価を作成し、これに基づき日常的作業コントロールを実施し、事後には予算と実績との差異分析をし、これらに関する原価資料を、逐次経営管理者各層に報告し、原価能率を増進する措置を講ずる一連の過程をいう☆☆。もう 1 つの目的として、全社的な利益管理が挙げられる☆。企業の安定的成長のため、一般に数年を対象とした長期利益計画と、次期を対象とした短期利益計画すなわち予算が立てられるが、この利益計画の過程では各種の選択的意図決定があり、このための特別な計画原価の算定が、制度外で臨時的に行われる☆☆。

問 2

積算上の直接工事費とは当該工事の施工に直接かかる費用を指すため、その中の経費も当該工事の施工に直接かかる費用を経費のみが該当する☆☆。これに計算し、完成工事の施工に直接かかる費用を経費とし、その間接費的管理費と直接工事費や労務費、共通費が含まれるため☆☆、後者の方が広い概念と言える。

予想採点基準

☆の前の文の内容が正解で加点

☆…2 点×10＝20 点

〔第2問〕

記号(AまたはB)

1	2	3	4	5	6
B	B	A	A	A	B
☆	☆	☆	☆	☆	☆

予想採点基準

☆…2点×6=12点

〔第3問〕

No.101 現場 ￥ ☆☆

No.102 現場 ￥ ☆☆

No.103 現場 ￥ ☆☆

No.104 現場 ￥ ☆☆

※(別解) No.102 現場: ￥102,175 No.104 現場: ￥134,230

予想採点基準

☆…2点×8=16点

〔第4問〕

問1

20X3 年度 ￥ ☆☆ 記号(AまたはB) ☆

20X4 年度 ￥ ☆☆ 記号(AまたはB) ☆

問2

￥ ☆☆ 記号(AまたはB) ☆

予想採点基準

☆…2点×9=18点

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書			
自 20X8年7月 1日			
至 20X8年7月31日			
X建設工業株式会社			
(単位：円)			
I. 材料費		1,570,300	☆☆
II. 労務費		1,144,350	☆☆
(うち労務外注費	366,550)	☆
III. 外注費		344,550	☆☆
IV. 経費		577,690	☆☆
(うち人件費	327,210)	☆
完成工事原価		3,636,890	☆

問2

¥ 1,306,250 ☆☆

問3

① 重機械部門費予算差異 ¥ 14,050 ☆ 記号(AまたはB) A ☆

② 重機械部門費操業度差異 ¥ 9,100 ☆ 記号(同上) B ☆

予想採点基準

☆…2点×17＝34点